

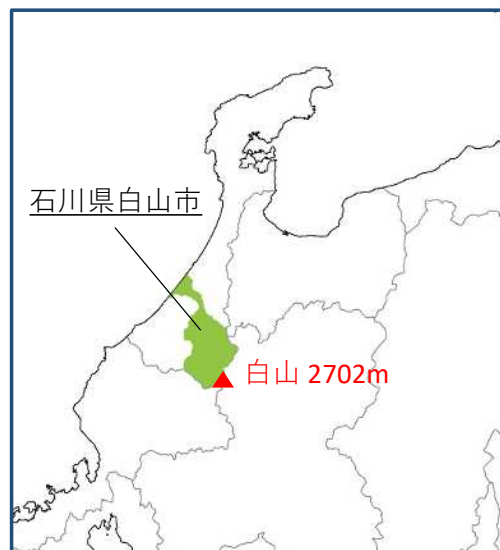
○白山（はくさん）の火山防災

～「活火山である」との認識を～

白山は、金沢市の南方約50km、石川県と岐阜県の県境に位置しています。白山は活火山ですが、1659年の噴火を最後に平穏な状態が続いています。

近年では、2005年、2014年12月、2017年11月、2020年6月や2021年9月などに山頂直下で群発的な地震活動が観測されていますが、いずれも噴火には至っておらず、2007年12月に気象庁が「噴火警戒レベル」を運用開始して以降、噴火警戒レベルは「1」のままです。

そのため地域住民には、「白山は活火山」という認識を持ち続けていただくことが重要であると考えており、訓練の実施を通じて周知を図っているところです。



■ 融雪型火山泥流の発生を想定した住民避難訓練

令和7年2月25日（火）、白山市白峰地区で白山噴火による融雪型火山泥流の発生を想定した住民避難訓練を実施しました。積雪期に噴火が発生すると、想定火口域から約13kmの距離にある白峰地区に融雪型火山泥流が到達すると想定されています。

訓練には、影響範囲内にある白峰小学校の児童、教職員20人と、地域住民、警察・消防等の関係機関、約80人が参加しました。



避難所に向かう白峰小学校の児童



警察による道路規制訓練

■ 「火山防災の日」に火山防災教室を実施

令和6年8月26日（月）、金沢大学の酒寄教授、平松教授を講師に招き、白嶺中学校で「火山防災教室」を開催しました。炭酸水を火山に見立てた実験や地震計のしくみを教わるなど、白山火山防災について、実験を通して楽しく学習しました。



【問合せ先】

石川県白山市 総務部 危機管理課

TEL：076-274-9536

E-mail：kikikanri@city.hakusan.lg.jp

事務局（鹿児島市危機管理課）

TEL：099-216-1513

E-mail：kiki-kazan@city.kagoshima.lg.jp